

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年7月30日

全州極めて乾燥している。山林の火災はその後も続いており、新たな発火も報告されている。降水が無く土壌水分は更に悪化した。収穫は晴天続きであり順調に進んでいる。冬小麦は51%（昨年：42%、平年：31%）、春小麦は39%（昨年同期：30%）が収穫された。小麦は7月の高温・乾燥に因り極めて早く枯熟した。高蛋白質はソフト・ホワイト小麦には歓迎されないが、2002年産ソフト・ホワイト小麦は低容積重、高蛋白と成ろう。収穫期に入り降雨が無い事は発芽粒の発生の心配は少ない。

2002年7月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、単収40.0bu/ac(6月1日：47.0bu/ac)、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。

2002年7月28日現在：

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	34	46	20	0
Subsoil (%)	36	45	19	0

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	na	na	na	na	na

作物進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat Harvested (%)	51	31	42	31

Source: Oregon Agricultural Statistics Services